

(平成16年9月30日現在)

世界の主要拠点

国内					
本社	横浜				
支店	仙台	郡山	盛岡	八王子	松本
営業所	関東(さいたま)	太田	新潟	東関東(柏)	
	名古屋	福井	静岡	浜松	大阪
	京都	岡山	福岡	宮崎	
事業所	福井	加賀			

Sodick America Corporation (San Jose)
 Sodick Inc. (LA/CHICAGO/NJ)
 Sodick Europe Ltd. (U.K.)
 Sodick Deutschland GmbH (Germany)
 Sodick (Thailand)Co.,Ltd.
 Sodick Singapore Pte.,Ltd.
 Sodick (H.K)Co.,Ltd.
 Sodick (Taiwan)Co.,Ltd.
 本社/技術・研修センター
 株式会社ソディックプラステック
 福井事業所
 Suzhou Sodick Special Equipment Co.,LTD

Sodick

株式会社 ソディック



ソディック ホームページのご案内
<http://www.sodick.co.jp/>



投資家情報はこちらまで

株主の皆様からの声をお待ちしています

当社では、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。
 お気軽に下記メールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス : ir@sodick.co.jp

Sodick 〒224-8522
 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
株式会社 ソディック TEL: 045-942-3111 FAX: 045-943-5835



第29期
中間事業報告書
 (平成16年4月1日～9月30日)

「ものづくり」にかかわる、全ての工程のお手伝い。

Total Manufacturing Solution



株主の皆様へ



代表取締役社長
塩田 成夫

ソディックは、「創造」「実行」「苦労克服」を社是としております。これには、新しいことを「創造」し、「実行」によってそれを形にし、その過程の「苦労」を「克服」してものづくりに貢献するという当社の強い理念が込められています。この理念のもと、当社グループは、「ものづくり」のお手伝いができる技術や製品群を開発し、常に市場にインパクトのある製品を提供し続けております。

お客様のご要望は日ごとに高度になり、ミクロン(1000分の1ミリ)単位の世界から、サブミクロン(1万分の1ミリ)、そしてナノ(100万分の1ミリ)の世界にまで及んできております。当社グループはこの新しい課題に総力を結集して挑み、満足していただける製品を開発することを目指しており、これによって、人々に夢をあたえることができる企業であり続けることを大きな目標としております。

今後につきましては、株主の皆様のご期待にお応えしていくために業績の拡大を図ることはもちろんのこと、社内の管理体制等に関しても様々な施策に取り組み、今まで以上に信頼していただける企業になるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

>> 連結業績ハイライト



業績報告

当中間期の概況

カーエレクトロニクス等の自動車関連業界や電機業界向けの需要拡大に対応するため、各事業セグメントにおいて生産拠点の拡充を行いました。また、販売面では、当社グループの強みである総合力を武器に、CAD/CAM、放電加工機、マシニングセンタ、射出成形機等のシステム販売を強化するなどの施策を行いました。

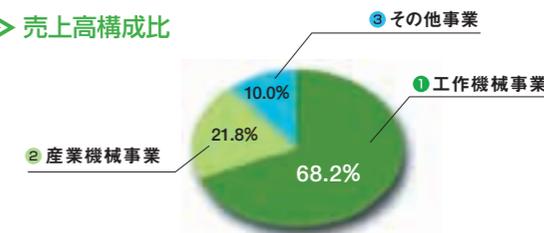
その結果、当中間期の連結売上高は278億64百万円(前年同期比36.5%増)を達成いたしました。連結営業利益は34億6百万円(同73.8%増)、連結経常利益は35億円(同116.1%増)、連結中間純利益は21億81百万円(15.4%増)となりました。

通期業績予想

今後の見通しといたしましては、半導体・液晶関連向けの設備投資は一時的に調整局面に入ると予想されておりますが、国内および中国・タイなどアジア諸国において、カーエレクトロニクスをはじめ、自動車産業関連向けの設備投資が活発化していることなどを受けて、当社グループの事業におきましても堅調に推移するものと考えており、通期の業績予想につきましては、連結売上高555億円、連結経常利益70億円、連結当期純利益48億円を見込んでおります。

セグメント別概況

>> 売上高構成比



工作機械事業(①)

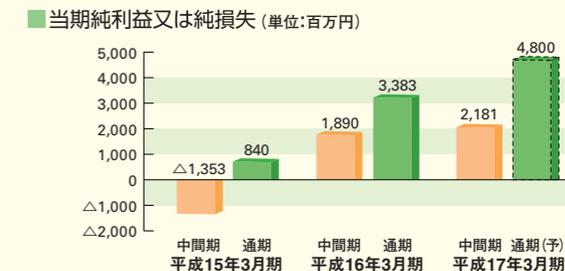
生産面では、タイ・中国の生産拠点において、増産体制の構築を進めました。また、自社製リニアモータ駆動の超精密小型マシニングセンタの拡販に力を注いだ結果、エレクトロニクス・自動車部品業界向けに売上が拡大いたしました。その結果、当事業の売上高は前年同期比50億13百万円増(35.8%増)の190億13百万円となりました。

産業機械事業(②)

製品の技術的高評価を基に、光学系デジタル家電やモバイル、さらには液晶用の部品製造向けを中心に販売が堅調に推移し、当事業の売上高は前年同期比20億30百万円増(50.3%増)の60億69百万円となりました。

その他事業(③)

プラスチック成形加工・精密受託加工事業の事業規模の拡大に努めたことにより、当事業の売上高は前年同期比3億62百万円増(14.8%増)の28億16百万円となりました。



CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結業績ハイライト	1-2
業績報告	1-2
4月~11月のトピックス	3
ソディックの事業領域	4
中間連結財務諸表(要旨)	5
株式情報・株主メモ・会社概要・役員	6

Photo & News ~4月~11月のトピックス~

新製品の発表や、受賞、見本市への出展など、当期も積極的な活動を行ってまいりました。4~11月における当社のトピックスを、写真とともにご紹介いたします。

Sodick Plustech Fair in Kaga 開催



5月13、14日に前期中に増築された(株)ソディックプラステック加賀事業所にて、新製品である「クリアメルトシステム」および新しい生産ラインを披露いたしました。

生産現場に求められている「省スペース」「広い加工スペース」「高速加工」および「無人・自動化対応」を兼ねそろえたワイヤ放電加工機「AQ327Lプレミアムシリーズ」を発表いたしました。



ワイヤ放電加工機「AQ327L プレミアムシリーズ」発表

平成16年5月

7月

9月

11月

超精密・超微細加工へ飛躍的な性能向上を図りながら、省スペース性と機能性を持ったデザインを実現した、小型超精密形彫り放電加工機「AP1L」が日刊工業新聞社主宰第34回機械工業デザイン賞特別賞を受賞いたしました。



AP1L「機械工業デザイン賞 特別賞」受賞

IMTS2004 (シカゴショー) に出展

2年に1回、アメリカはシカゴにて開催される世界3大工作機械見本市であるIMTS2004(シカゴショー)に、新製品を含めた10機種を展示いたしました。



JIMTOF2004に出展

11月1~8日まで、東京ビッグサイトにて開催された国内最大の工作機械見本市であるJIMTOF2004に出展いたしました。当社ブースを訪れた10,000人を超える方々に、当社の最新技術に触れていただきました。



世界4極体制の確立

横浜市の本社および中国・上海に続き、当期に入り、ヨーロッパ、アメリカにおいてそれぞれ新しくテクニカルセンターを開設いたしました。テクニカルセンターには、ソディックグループ各社の製品やパネルの展示を行う大型のショールームが備えられており、ワールドワイドな市場において、トータルな視点で日本と同等の高品質なサービスのご提供が可能になりました。



Sodick Deutschland GmbH European Tech.Center



Sodick Inc / Tech.Center

特集~ソディックの事業領域

Business Domain Total Manufacturing Solution

「モノづくり」のあらゆるプロセスにおいて、お客様の課題解決をサポートします。

ソディックグループは、「Total Manufacturing Solution」を事業コンセプトとして、CAD/CAMによる製品の設計から、放電加工機・マシニングセンタによる金型や部品の加工、電子ビームPIKA面加工機による加工面の仕上げ、射出成形機やリニアプレスによる成形まで、「モノづくり」にかかわるあらゆる工程のお手伝いをしています。

このように、「モノづくり」の全工程にかかわることで、当社は各工程における最新情報やノウハウを蓄積することができます。さらに、こうした蓄積を活かして、お客様の「モノづくり」における課題に対して、つねに最適なソリューションをご提供いたします。



ソディックの Q'v i c Solutionでは、3次元CAD/CAMで作成された、データをそのまま認識して加工することが可能なため、加工準備時間の短縮や操作ミスなどによる不良発生の低減に貢献します。

自社開発したリニアモータをXYZ軸に使用することにより、さらなる高速化・高精度化を実現。近年は世界最高水準の位置決め精度をもつ加工機を開発し、世界市場から注目を集めています。

ソディックはワイヤ放電加工機、形彫り放電加工機分野で世界トップクラスのシェアを誇っています。自社開発リニアモータの搭載により、サブミクロン単位での超高精度な加工を実現しています。

切削または放電加工後の磨き工程を電子ビーム照射により行うPIKA面加工装置は、従来は熟練工が長時間掛けて行っていた作業を大幅に効率化するだけでなく、耐腐食性、防錆性の向上にも寄与します。

独創的な構造をもったプラスチック射出成形機を開発。高精度化ニーズに対応する超精密加工はもちろん、高耐久、ハイパワー、ハイサイクル、省エネルギーなど、さまざまなニーズに対応しています。

自社開発のリニアモータを搭載しており、CNC装置を使用することにより、ミクロン単位で制御できるため、通常のプレス機では困難なプレス加工を行え、大幅なコストダウンを実現します。

主要製品	加工		成形	
工作機械	マシニングセンタ Nano加工機	形彫り放電加工機、 ワイヤ放電加工機	EBM (電子ビームPIKA面加工装置)	
産業機械			小型精密射出成形機	リニアプレスセンタ
その他	CAD/CAMシステム	受託加工	受託加工	受託加工

中間連結財務諸表(要旨)



中間連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切捨)

科目	前中間期 平成15年9月30日現在	当中間期 平成16年9月30日現在
資産の部		
流動資産	33,423	43,716
固定資産	19,974	21,273
有形固定資産	17,020	18,267
無形固定資産	523	573
投資その他の資産	2,430	2,431
資産合計	53,397	64,989
負債の部		
流動負債	33,582	34,537
固定負債	3,857	7,503
負債合計	37,439	42,041
少数株主持分		
少数株主持分	2,529	3,231
資本の部		
資本金	15,403	16,848
資本剰余金	1,584	3,029
利益剰余金	△2,992	508
その他有価証券評価差額金	129	215
為替換算調整勘定	△678	△847
自己株式	△18	△39
資本合計	13,428	19,716
負債、少数株主持分及び資本合計	53,397	64,989

■当連結中間会計期間において、中間純利益21億81百万円を計上したことにより、連結利益剰余金のマイナス残高が解消されました。

■2004年9月30日満期円建転換社債の株式転換が進んだことにより、前期末と比較して、資本金と資本剰余金がそれぞれ、10億82百万円増加いたしました。

中間連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切捨)

科目	前中間期 平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	当中間期 平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
売上高	20,417	27,864
売上原価	13,584	18,403
売上総利益	6,832	9,461
販売費及び一般管理費	4,843	6,073
営業利益	1,960	3,406
営業外収益	263	481
営業外費用	602	387
経常利益	1,620	3,500
特別利益	920	32
特別損失	87	380
税金等調整前中間(当期)純利益	2,453	3,152
中間(当期)純利益	1,890	2,181

中間連結剰余金計算書

(単位:百万円、単位未満切捨)

科目	前中間期 平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	当中間期 平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	2,102	1,947
資本剰余金増加高	775	1,082
資本剰余金減少高	1,292	—
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,584	3,029
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	△6,168	△1,498
利益剰余金増加高	3,183	2,219
利益剰余金減少高	6	211
利益剰余金中間期末(期末)残高	△2,992	508

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切捨)

科目	前中間期 平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	当中間期 平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,369	642
投資活動によるキャッシュ・フロー	845	△2,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,516	1,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	82
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	△1,356	291
現金及び現金同等物の期首残高	7,921	8,229
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	70
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,564	8,591

(平成16年9月30日現在)

株式情報

会社が発行する株式の総数 98,000,000株
発行済株式の総数 47,108,810株
株主数 7,446名

主要株主

株主名	持株数(千株)	出資の比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,850	8.17%
メップ株式会社	3,324	7.05%
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,254	4.78%
バンクオブニューヨーク・ロイヤリティ・インベスメント・グループ131800	1,799	3.81%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,521	3.22%
日本証券金融株式会社	1,340	2.84%
ユーロクリアバンクエスエーエヌビイ	918	1.94%
モルガンスタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナルリミテッド	781	1.65%
株式会社三井住友銀行	748	1.58%
ザチエスマンハッタンバンクエヌエイロンドン	703	1.49%

(平成16年9月30日現在)

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 利益配当金 毎年3月31日 その他必要がある場合は、 予め公告する一定の日
1単元の株式数	1,000株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 〒100-0005 http://www.ufjtrustbank.co.jp
名義書換事務取次場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 03-5683-5111(代表)
お問い合わせ先	☎0120-232-711(通話料無料)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村証券株式会社 本店・全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
	弊社は、貸借対照表及び損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載することといたしました。掲載アドレスは下記のとおりです。 http://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html

(平成16年9月30日現在)

会社概要

会社名 株式会社ソディック
所在地 (本社)横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
〒224-8522 TEL: 045-942-3111(代表)

設立 昭和51年8月3日
資本金 168億4873万9258円
代表者 塩田 成夫
従業員数 270人(連結2,545人)
連結子会社 34社
営業品目 NC形彫り放電加工機/NCワイヤ放電加工機/細穴放電加工機/数値制御電源装置/マシニングセンタ/ナノ加工機/金型設計製作用CAD/CAMシステム/精密射出成形機/工業用セラミックス/精密リニアプレスセンタ/産業機械向けリニアモータ/電子ビームPIKA面加工機/その他電気加工装置/放電加工機専用治具/放電加工機用消耗品/金型・成形品/その他

(平成16年9月30日現在)

役員

代表取締役会長	鈴木 正昭
代表取締役社長	塩田 成夫
専務取締役(生産物流本部担当)	山本 孝志
専務取締役(経営企画担当)	加藤 和夫
常務取締役(営業統括担当)	滝 耕二
取締役(管理本部本部長)	藤原 克英
取締役(研究開発本部本部長)	佐野 定男
取締役(営業技術本部本部長)	市川 剛志
取締役(アドバンス研究本部本部長)	金子 雄二
取締役(財務部本部長)	河本 朋英
常勤監査役	西島 治彦
監査役	下山 貞夫
監査役	上野 朔生
監査役	楠 左衛治

*監査役のうち、下山貞夫は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。